

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名 肝がん・重度肝硬変患者医療費助成事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 感染症対策推進課 感染症対策係 電話番号：058-272-1111(内3352)
E-mail : c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,212千円 (前年度予算額： 5,280千円)

＜財源内訳＞

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,280	2,640	0	0	0	0	0	0	2,640
要求額	5,212	2,603	0	0	0	0	0	0	2,609
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

国において、肝がん・重度肝硬変治療にかかるガイドラインの作成など、治療研究を促進するための仕組みを構築するため、肝がん・重度肝硬変治療の研究に協力する患者の医療費の助成を行う。

医療費の助成制度を構築し、肝炎患者の療養に係る経済的支援、肝炎医療を受ける機会の確保等肝炎対策の推進を図る。

(2) 事業内容

肝がん・重度肝硬変治療の研究に協力する患者の入院・通院医療費を助成。

(3) 県負担・補助率の考え方

県1／2 国1／2

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	504	協議会委員報償費
旅費	24	業務旅費、費用弁償
需用費	70	啓発チラシ、事務用品費
役務費	100	通信運搬費
委託料	1,894	国保、社保への医療費支払い
使用料	10	会場使用料
扶助費	2,605	償還払い
交付金	5	岐阜市への交付金
合計	5,212	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・肝炎対策基本法
- ・厚生労働省 肝炎等克服政策研究事業

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県内の肝がん・重度肝硬変患者の予後改善、生活の質の向上や肝がんの再発抑制のために、医療費の助成制度を構築し、肝炎患者の療養に係る経済的支援、肝炎医療を受ける機会の確保等肝炎対策の推進を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

肝がん・重度肝硬変患者に対する医療費助成事業であり、指標を設定することになじまない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 4 年 度	毎月開催される岐阜県肝炎治療認定協議会に併せて、岐阜県肝がん・重度肝硬変治療認定協議会を開催。 昨年度は、12件参加申請があり、対象患者として認定している。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 5 年 度	毎月開催される岐阜県肝炎治療認定協議会に併せて、岐阜県肝がん・重度肝硬変治療認定協議会を開催。 昨年度は、5件参加申請があり、対象患者として認定している。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 6 年 度	毎月開催される岐阜県肝炎治療認定協議会に併せて、岐阜県肝がん・重度肝硬変治療認定協議会を開催。 昨年度は、21件参加申請があり、対象患者として認定している。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価)

3

肝がんは5年生存率が低いがんであるため、B型C型肝炎ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変患者への医療費の負担の軽減を図りつつ、肝がん・重度肝硬変の予後改善や生活の質の向上、肝がんの再発抑制などが必要である。

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり

2：期待どおりの成果あり

1：期待どおりの成果が得られていない

0：ほとんど成果が得られていない

(評価)

2

事業開始当時(平成30年度)の参加申請件数は3件であったが、現在までの6年間で年間平均9件と増加している。

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価)

2

肝がん・重度肝硬変の治療を行う医療機関を指定医療機関に指定し、対象患者の拾い上げを行っている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

適切な治療を図るため治療の重要性について積極的な普及啓発が必要。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

肝炎ウイルスが起因となる肝がん・肝硬変・慢性肝炎に関する、施策の充実及び普及啓発の更なる推進のため、今後も継続して本事業を実施する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	